

(平成 28 年度 山形県在宅医療推進事業)

第 1 回 在宅訪問歯科診療研修会のご案内

時下、皆様におかれましては益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。
講師より抄録が届きましたので再案内いたします。在宅および施設管理の担当者様には**インフルエンザ流行期に備え**、今から理解しておいていただきたい最新の内容になっております。ご参加お待ちしております。
一般社団法人 鶴岡地区歯科医師会 会長 荻原 聡 (公印省略)

演題：「健康寿命の観点からみた歯磨きの重要性」
日時：平成 28 年 7 月 23 日 (土) 18:00～20:00 (受付 17:30～)
会場：鶴岡市総合保健福祉センターにこ♥ふる 3 階大会議室 1・2
講師：鶴見大学歯学部口腔顎顔面外科学講座教授 歯学博士 濱田 良樹 先生
ご略歴 東北大学歯学部卒業 (H1.3) / 鶴見大学歯学部附属病院 副病院長 (H25.3～)
対象者：歯科医師、歯科医療従事者、医師、薬剤師、医療介護関係、行政関係等、関心のある方
主催：一般社団法人鶴岡地区歯科医師会
後援：南庄内緩和ケア推進協議会 (庄内プロジェクト) 医科歯科連携を考える会

<抄録> 昨今、全身疾患と歯周病 (口腔内細菌) との関連性が注目され、適切な口腔衛生管理 (いわゆる口腔ケア) によって、様々な疾患・病態の発症、あるいは重症化を防止できるのではないか、とされています。
これに関連して当講座では、“**口腔内細菌はインフルエンザの重症化を支援する!?**” という仮説に基づいた研究を行い、“**確りと歯磨きをすることで、インフルエンザの重症化を防止できる**” ことを示唆する結果を得ました。具体的には、増殖したインフルエンザウイルスが宿主の体内で拡散するために必須であるノイラミニダーゼという酵素の役割を、口腔内細菌が分泌する細菌性ノイラミニダーゼが代行できる、ということを示したものです。今回の講演では、この研究内容について分かりやすく解説します。
また、心疾患、脳血管疾患、糖尿病等々の**健康寿命の妨げとなる疾患・病態に及ぼす口腔内細菌の影響**についても概説します。そのうえで、健康長寿の観点からみた歯磨きの重要性について、皆様とディスカッションできれば幸いと考えています。

※ 口腔ケアワンポイントレッスン (17:00～17:30)

講演に先立ちまして、医療・介護施設関係者様 (先着 6 施設) に鶴岡地区歯科医師会の
歯科衛生士により、歯列模型を使用し、口腔清掃補助用具 (タフトブラシ) の紹介指導
をおこないます。正しい使い方を体験していただきます。
ご希望施設の方は下記申込欄に記載の上、再度事前にお申し込み下さい。
なお、進呈用のタフトブラシをご用意させていただきます (各施設 5 本)。



タフトブラシ

鶴岡地区歯科医師会事務所行き FAX 0235 - 28 - 3572 **申込締切 7 月 19 日 (火)**

7/23 (土) 在宅訪問歯科診療研修会に参加します。 ※レッスン希望者は再申込必要
所属機関 () TEL/FAX・E-Mail (/)

職 種	氏 名	職 種	氏 名

医療・介護施設関係者様：口腔ケアワンポイントレッスン希望者 (名)